

AOMORI · IWATE · MIYAGI · AKITA · YAMAGATA · FUKUSHIMA

# 第7号

発行所  
東北地区屋外広告美術業組合連合会  
情報文化委員会  
事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番10号  
TEL 022-257-0437

## 第18回東北六県公共キャンペーン作品展 東北新時代を担う秀作が揃う!!

建設大臣賞に(有)マルケイ工芸社(山形)さん ○期間 平成7年10月13日~15日 仙台で



仙台市庁前の広場で開催された作品展(中央は建設大臣賞)

地区連会長賞

日広連賞

建設大臣賞



(株)アドスタッフ 織田 吉昭



ナカノ工房 丹野 聖一



(有)マルケイ工芸社 竹田 健治



(株)アドスタッフ 織田 吉昭氏  
シンプルなかにも心にホッとするような色づかい、印象に残ることを心掛けて作成致しました。



ナカノ工房 丹野 聖一氏  
パネル展(東北)での受賞は、三度目になります。  
山形の予選には、毎回時代を反映し新鮮さを感じさせる様な作品を出品しようと心掛けております。  
今回の受賞をバネにして日々の仕事に精進してゆきたいと思っております。



(有)マルケイ工芸社 竹田 健治氏  
此の度の作品展におきまして、念願の大臣賞を受賞する事が出来、大変喜ばしく思います。  
今年も、尚一層優れた作品造りに精進してまいりたいと思っております。



### 「第18回東北六県公共キャンペーン作品展」講評

各県の広美より厳選して出品されただけに、全作品は素晴らしく、展示された作品は全部入選作と見て良い。屋外広告に欠かすことの出来ない遠、近、どんな場所でも効果が有り必要条件を満たし、昨今特に強調しなければならない「環境との調和」が有りレイアウト、仕上げの技術力に優れ、色彩に於いては全体に穏やかで一般大衆の心に働きかけている。

入賞12作品については、テーマを適切に表現している、又コピーは出来るだけ簡素にして必要なことを端的に表現し、色彩構成の発色効果も素晴らしいものがあった。なかに空缶をベースに使用したのがあり、リサイクルが騒がれる昨今微笑ましく感じられた。写真を使用したものも良い作品が見うけられたがコピーの位置に一考がほしかった。上位入賞者については、アイデアに新鮮さがあり、地球規模の環境問題が提案されていることは非常に社会的に意義のあることである。特に1位、2位の作品については、一番大切な、時代の欲望の視覚化がなされており、業界一流の作品と評し、敬意を表する。

平成7年10月13日

サインクリエイター協会  
会長 大関 栄一



「あいさつ」

東北地区屋外広告美術業組合連合会会長 須賀 政雄

東北六県の組合員の皆様には、日頃より地区連の運営にしましてはご理解とご協力頂きまして誠に有難うございます。

昨年七月十日の第四十七回国土建設週間において山形県屋外広告美術協同組合相談役、東北地区屋外広告美術業組合連合会参与阿部富雄氏が、都市計画事業功労者として建設大臣表彰を受けられました。ご本人の永年に亘る功績に対する褒賞であり大変名誉なことであり誠に有難うございます。地区連と致しまして衷心よりお祝い申し上げます。

第三十七回日広連全国大会は昨年六月六日宮城県松島海岸の「ホテル大観荘」で開催され皆様の格段のご協力により、全国から参加の会員の方々から多大のお褒めと感謝の言葉を頂きました。皆様は改めて感謝とお礼を申し上げます。二年余り前から受入れ準備会議を重ね皆様から貴重なご意見とご提案を頂き検討してまいりましたが、参加者から喜んで頂ける様な色々のアイデアも予算の関係もあり総てを取りあげられず、どの線でも妥協するか迷いました。運営スケジュールの立案、実行予算の策定等に大変ご苦労された佐藤地区連専務理事、高木地区連会計理事、市川事務局長様には何とお礼申し上げて良いのか、本当に有難うございました。参加費を決めるにしても諸々の物価が値上がりしており、参加者に喜んで頂けるサービスを提供するとなると、高知大会の参加費の一〇%以上の値上げが必然であるとの意見が多かったのですが、期待した景気も回復しない状況から値上げによる参加者の減少を心配する声もあり、結局金沢大会、高知大会と同額の参加費にすることに決定し「日広連紙」に全国大会のスケジュールと参加費を発表し参加の呼びかけを行いました。果たして何人の参加者が

あるのか、参加費を低くおさえたことにより、参加者が少なかった場合の赤字は大きなものになります。東北六県の組合員から拠出頂いた準備資金でも足りなかつたらどうしようか心配でなりません。そのうえ一月の阪神大震災の発生、三月のオウム真理教の地下鉄サリン事件、東京の信用組合の経営破綻等社会不安と景気低迷が続く中で、果たして参加者が何人あるのか心痛の連続でした。「日広連紙」四月号には異例の東北六県理事長連名の参加呼びかけを行うと共にあらゆる機会をとらえて参加の呼びかけを行いました。全国からの参加者の少ないことを予想して地元からの参加で補うべく、南三県の宮城、山形、福島は組合員の五〇%以上九〇%を目標に、北三県の青森、岩手、秋田は組合員の三〇%以上の参加を要請致しました。少ない予算の中で如何に充実したサービスを提供するか、準備会議も手弁当のボランティアとして経費の削減を計らざるを得ませんでした。ゴルフ大会は早坂君にゴルフ場の選定、参加記念品等運営の総ての計画立案をお願いし千葉理事長と打合せの上、実施する様に頼みました。歓迎出迎えをどの様にするか、仙台空港、仙台駅、松島海岸駅の人員配置、バスの手配、ホテルの受付準備、会場の看板飾りつけ、式典会場のレイアウト、司会者の依頼、打合せ、懇親会を和式にするか洋式にするか、お膳テーブルのレイアウトをして検討する、アトラクションの手配、演出の検討等予算の兼ね合いで再三の変更を繰り返しての打合せ会となりました。観光コースに於いても山形広美、福島広美との合同下見会を実施したことによりコースの変更等もあり、地元組合員の数回に亘る現地調査、歓迎アトラクションの打合せ等熱心な打合せ会議の開催には唯々頭がさがるのみでした。更に苦

労したことは予算に縛られることでした。最終的には六七〇余名の参加者を得まして大成功の大会となりました。先輩の方々が築いた過去三回の東北大会のイメージの良さと、あらゆる機会をとらえての参加呼びかけによるものと思われまます。今更乍ら東北六県の組合員の団結と先輩諸兄の築いた功績の賜ものと感謝申し上げます。この団結力を今後の東北地区連の運営に生かして行きたいと願っております。

地域化、小型化、組織再編への私論



青森県屋外広告美術業協同組合 理事長 千葉 裕

昭和三十三年に結成された全看連が日広連に改称され、登録制の実現を旗印に全国の同業者を糾合して、宮々として今日あるのはその大きなスケールメリットを最大限に生かした結果である。種々共済事業を推進して個々の事業所の福利に努めるとか、政治的な動きのなかで業の社会的地位向上を図るといった、それなりの成果は納めてきたと思う。

しかしながら現在個々の単組の運営は厳しい。組合運営の隘路の第一に挙げられているのは、なんと構成員の組合事業に対する協力不足とか、無理解といった組合存続の根幹に係わる最も重要な点なのである。この点に関して単組リーダーたちの力量不足や、取り巻く環境など多くの問題もあるであろうが、組織自体の硬直化がその大きな原因であるの言うまでもない。単組の活動がマンネリにならざるを得ないのは、大きくも小さくもそのサイズにある。つまり、県単位での活動には自ずと限界があるという事である。事業について言えば、各地から多数の理事者を度々集めて審議し、実行するとなると膨大な時間と費用を要する。また企業間や、地域間の格差

岩手県の屋外広告条例の改正



岩手県屋外広告美術業協同組合 理事長 高橋 徳一

を抱えているため、それぞれの利害を調整した事業は平均化した、特色のないものにならざるを得ない。日本の格差の組合版であるが県単位の組合は個々の格差には対応しようがない。かくして単組の活力は衰えてゆくばかりである。勿論すべての組合がそうであるとは言えないが単組の保守的な性格はこのような状況から必然的に形作られてきたのである。保険や一般的情報提供のような定型的な事業活動で終始するのであれば、本来の事業組合の存在理由が希薄になる訳であるから、共済や広告士試験の為だけの効率のよい事務組合を広域で作ればよい。本来の事業協同組合は、活動しやすい、地域に密着した少人数の、具体的な目的を持った組合であるべきである。事業の推進の為に連帯責任をもち、存在感のある身近な組合であるべきである。価値観の多様化や創造的な仕事

が要求される二十一世紀に対処できる組合づくりを考える時期である。平成六年二月、県土木部の主催で屋外広告物懇談会が開催され、屋外広告物のあり方について関係業界による懇談会が開催され、様々な立場から幅広い意見がなされたのであります。そして同年十二月、建設省で屋外広告物標準条例案の大幅な改正を行いましたが、岩手県では、この新・標準条例改正に基づき、第一回岩手県屋外広告物審議会を開催、帷子県土木部長は「平成五年十月に岩手県景観条例が制定されたが、美観風改の維持、危害防止などの観点から屋外広告物条例を大幅に見直したい」旨のあいさつがあり県側より屋外広告物の実態や条例改正の基本方針などが示されました。

変遷の中で



秋田県屋外広告美術協同組合 理事長 石黒 征幸

この改正案は本年二月、定例県議会に提案されることになっております。以上、改正案の主なる点を申し上げますが、屋外広告は私たちの日常生活に多くの便益をもたらしているのも事実でありましてが利便のみを追求してまいりますと屋外広告物が大量・無秩序に掲出され都市景観を著しく損なうことにもなりかねません。快適な都市景観をつくるためには、その一躍を荷なう私たち屋外広告業にたずさわるものの創意と工夫が必要になってくるものと確信いたします。

昨年国内で起きた天災、人災事故事件は暗いニュースが多く、経済動向も日本の産業構造は転換期、地域経済はそのうねりの中にあるとされ、経済環境も相変わらず厳しい時世であったように思う。また昨秋刊行されたベストセラーの書「大変な時代」の一節に、既成概念として常識が通用しない社会構造の変化、新しい競争の原理、ローコスト革命への示唆などきわめて核心にふれる未来論が展開されています。云々。かつて日本人は本来急激な変化を好まない性格とか人種とか云われてきたが、いまこれらもくつがえされ、さまざまな変化の起こりうる中で常識が通用しない社会現象が変化していく時代と不安の中に暮らしている。新しい競争の原理、非常に難しい高度の問題をかかえていることだがこの一部分をとらえてこれを経済問題に配慮してみれば、自分達の商行為でもなかるかと思う。即ち組合団体として組織の運営であり対応である、と同時に複雑な時をのりこえていかざるを得なければならぬ各々の企業戦略であり、英知ではないだろ

うか。今年度は行政側においても「屋外広告物制度」の改正が行われつつあるが、新しい規制がなされる中でも私達業界としては組織を団結し、時代に対応できるように企業意識の変革を加えながらも進んでいきたい、ともあれ業界の目標は地域経済活動や、市民生活を表現する手段の役割を擔う媒介としてよりよい都市景観の形成の一助に努めたい。

これも昨年四月行政主体として秋田市では「きらめく北の人間都市」づくりを目指す一つに市立美術工芸専門学校を発展的に改組し「秋田公立美術工芸短期大学」を設置し、工芸美術学科・産業デザイン科の二科を設置し伝統の振興と、産業活性に携わり、次代をリードしていく人材育成を目指し、教育と「ものづくり」に発進している。教育が「美の心」を培い、私達屋外広告も「街の灯台」として明るさと潤い、色彩環境美観の向上に邁進したいと念願している。

最後になったが「屋外広告の日」のキャンペーン行事の一環として昨年九月、第二十三回「秋田県公共キャンペーン作品展」を秋田駅前・アゴラ広場で開催したが、これを地元中小企業団体中央会が見届けてくれたのか、十月上旬中央会において現在発行している機関誌(商工あきた)の表紙に掲載したく使用させていただきたいとの依頼があり、当組合としては願ってもないことであり、「一挙兩得」として有益効果、労を得じての商売宣伝となり承諾した。その結果いまでは平成七年十月号から平成八年一月号まで毎月交代(四回)に経過してきたところである。

### 元日に思ったこと



宮城県屋外広告美術協同組合

理事長 狩野 壽一

今年の干支は、干支の初めの「子」。

何となく気分がいい。でも、元旦は凄く吹雪で外出は不可能でありました。これも、メキシコ沖のエルニーニョが消滅した為に、久しぶりの寒い冬が戻って来ました。暖かい冬は、炭酸ガスの増加による温暖化現象の為だと認識した過去がありました。この様に寒い冬が戻って来ますと、温暖化現象がストップしたような錯覚に襲われます。

今の地球環境は、われわれの子供の時代とは全く変わってしまいました。同時にわれわれ業界の仕事の形態も全く変わってしまいました。予想を上回る科学の発展が、あらゆる業界の業態まで変えてしまいました。更に地球の環境さえも変えようとしております。陸上の生態系や、海洋の生態系までも大きく変えようとしております。このままでは、現在の生活を永遠に続けることは不可能であります。

二十一世紀の半ばには、地球環境が破壊に破壊をされ、人類の生存さえも心配されております。オランダで開催された「大気汚染と気候変動に関する会議」では先進国の炭酸ガスの発生量を一九九〇年の水準まで戻そうという決議がなされたということであり、現在の生活水準を保持しながらの生活は、大変困難であります。余りにも物が反乱し過ぎて今、ゴミが多すぎます。

看板を交換する為に新たに作れば、古い看板を処分する為にできるゴミは、選別をしたとしても再利用は困難であります。又、最終処分には大きなコストがかかり簡単なものではありません。然しそれをやらなければ、人類の永遠なる繁栄と、人類の永遠なる存在は保証されない訳であります。どんな業界であっても未来への新たな展望は、ない訳であります。

とき、水の豊富な青い惑星である地球の素晴らしさは感動的であったという報道があったのは、記憶に新たなところであり、シャトルが飛ぶ度に、思い出されます。

一方、忘れてならないのは、地球には三つの明かりも見えない！という報道であります。その一つは、熱帯雨林を焼いている火の明かりであります。二つ目は、大都会の電気の明かりであります。そして三つ目は、温暖化現象による砂漠化であります。赤い土の色に光線が当たり反射して見える明かりであります。

私たちが住んでいるこの日本は、緑ゆたかな土地であります。砂漠化をしていそうなどころは見つけることはできません。だから地球環境に無頓着で毎日を過ごしてまいります。関心事は、日本の経済の動向と、自分の仕事であります。当然であると思えます。

然し、われわれの業界を高めるためには、社会から認知をされるためには、地球規模の関心事に関心を持ち地域社会の人々と共に、できる省資源に、加担することも大事だと思えます。地区連の皆様の、ご健勝で益々のご発展を祈念して、素晴らしい宇宙船地球号のためにご尽力下さいますようお願いをしております。

### 山広美のすがた



山形県屋外広告美術協同組合  
理事長 田中 滋郎

平成八年の新しい年を迎え、本年もよろしくご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。顧みますと、昨年は年初より予期せざる出来事が相次ぎました。阪神・淡路大震災、オウムサリン事件、そして経済面では円高やバブル崩壊に伴う金融機関の閉鎖等が、社会全体にのしかかり、生活全般に大きな影響をおよぼしております。そんな状態の中

で山広美は購買事業収益により、会員相互の親睦を主とし日広連・東北地区連・単組の事業に基づき活動を行い、業界が提唱している屋外広告業の確立に向かつて活動をしているしだいです。昨年の東北大会は山形市で開催し会員多数のご来形を賜り、成功裡に終了させていただきました。厚くお礼を申し上げます。又、日広連全国大会につきましても、東北地区連、須賀会長さん、はじめ会員一丸となって参加し、成功裡に終了。特に観光では全国の会員より多くのご来形を賜りPRをさせていただきました。又、山広美相談役阿部富雄に対して、東北地区連のご推薦により建設大臣賞を受賞し、重ねてお礼を申し上げます。

尚、本年度は更なる組合員の団結と青年部独自の企画・各委員会活動の充実化を計ってまいりたいと思っております。



H7.6/4(日)筆供養「おみき」いただく  
村山市東沢公園筆塚前にて



H7.9/3(日)第7回親善つり大会  
つり上げた魚、80匹でした。

### 平成8年度 抱負について



福島県屋外広告美術協同組合  
理事長 長谷川 義雄

地区連の皆さまには希望に満ちた新春をお迎えのことからお慶び申し上げます。

昨年は、阪神淡路大震災やオウム真理教による凶悪犯罪など暗い世相の中であって、景気の中でも急激な円高、円高は正後も先行きに明るさが見えず、依然として足踏み状態のまま、日本経済の構造的要因もあって、金融不安、雇用不安、価格破壊が広範囲に進行しています。五十兆円に上る経済対策もまだ見える効果を出すに至っておらず、空洞化に伴うリストラによって中高年層の雇用不安が拡大し、若者の就職は超水河期といわれ社会問題となっております。

こうした中であって、福島県では、昨年、戦後五十年の節目の年にふさわしく、第五十回国民体育大会ふくしま大会が「友よ ほんとうの空に翔べ」のもと、冬・夏・秋季にわたり完全国体が開催され、福広美も屋外広告部門において方部に幹旋し、各方部では早くから組織作りに取り組み、万全を期して受注、多くの難題も連携を密に大きな感動のうちに無事に成し遂げ、関係機関から高い評価を得ることが出来ました。

また、第三十七回日広連全国大会もホスト役の一端を担い福広美各位の参加と協力の下、東北地区連のご指示よろしきを得て清々しく、全国同士の皆様に大きな感銘を与え終了することが出来ました。この二大イベントを通して従来にもまして高まった組合員参加の機運を大切に「組合員が主役」の活動を展開してまいりたいと存じます。さて、昨年から進めてまいりました組合活性化を本年も変革の時代を迎え

伝統と先端の狭間で本質的な所でも迷い、また、異業種の参入、時間短縮、屋外広告物法の改正等が業界をとりまく環境は誠に厳しく、このような状況下にあつては自助努力はもとより日広連のビジョンと単組の目線でのポリシーとの連携により業界の確立、安定に連なる組合活動を展開してまいりたいと心に期しております。

そのためには、まず各委員会による地域組合員の意見を集約し日広連、東北地区連との連携を深め行政、関係機関への働きかけや陳情等を開き、とくに東北地区連の果たす役目に期待し行動してまいりたいと存じます。また、私も業界にとつて最も関心の高い屋外広告物条例については、県当局が平成九年度から見直し作業に着手し、平成十年度には改正する方針と伺っており、組合としても要望や意見を十分申し上げ、改正に積極的に協力し、都市景観の形成、自然環境の保全に業界としての役割を果たしてまいりたいと存じます。更には屋外広告士が法的に位置付けられましたのを機に、その重要性を認識され多くの会員が資格取得に取り組みよう組合としてその環境づくりに努力してまいります。

東北地区連におかれては、組合間の連携を深めるとともにアウトサイダーの加入促進、屋外広告士、技能士等の格付け、行政による大型広告物の分離発注、屋外広告業の社会性高揚の運動など環境整備に力をお貸し下さるよう切にお願い致します。

次に組織強化については有能な会員の加入促進を図ると共に本年度はとくに青年部の結成に力を注ぎ、先輩諸兄の知識と経験、若者の知恵と行動力を組合に取り入れ、ますますの組合活性化につなげてまいりたいと思えます。また本年は賛助会員制度を実施し、関係業者と連携の下、新商品の紹介、利用、開発により、組合員の利便を図ると共に両者が一体となり各自の事業発展につながるよう努力していきたいと念願しております。

以上、新年に当たり私の抱負の一端を述べ、各位のご協力を切にお願い申し上げます。

# 第37回日広連全国大会



## 日広連第37回 全国大会を成功させた 執行部 560日の記録



東北地区連専務理事 佐藤中作

### 第一回

宮広美全国大会準備委員会開催  
平成五年十一月二十四日 12:00

全国大会開催に向けて思想統一を図ると共に大会受入れ準備の為、資料収集・スケジュール表などの作成、役割部門の提示。これらを基に各準備委員会ごとに大筋の計画立案。平成六年六月に実施される四国大会での、第三十七回全国大会の広報・アピールの必要性等の審議が行われ、大会準備の為の職位機能組織図(準備部会組織図)に基づき、東北各県理事長をはじめとし、大会々長、各担当委員長、副実行委員長、部長、各担当部長を指名決定され、宮広美理事長以下、全国大会準備に向けて土気の高揚、大同団結を計りながら、本番を迎えることに決定。

### 第二回

宮広美全国大会準備委員会開催  
平成五年十二月二十一日 14:00

宮城大会旅行代理店に採用したJTB卸町の三浦店長、安倍課長他と宮広美スタッフとの顔合わせの上意見交換、連携を保ちながら準備に万全を期する事を確認、平成六年六月高知大会に参加して、各項目をチェックする体制づくりと、確認作業についての審議が行われた。

・高知大会を見聞した上で更に煮つめた完成度の高い原案を作成、平成七年の東北大会が成功裡に終わる様邁進する必要がある。

・他県の応援者については業務内容が判らなくても、お手伝い出来る部署について頂く、又各県の差し出し人員に対する業務内容の説明会の必要性。

・戸田観光副会長から、大会期間三日間の流れについて、初日〜二日目〜三日目に分けての詳細説明あり。

・観光コースの設定については、既に山形・福島両県の要望をふまえたコースの選定がなされ、JTB(案)を提示の上、山形・福島両県にもFAXをし確認を願い、両県の観光担当者との細部打ち合わせは、地区連絡

会時に実施と決定。次いで懸案事項等の決定について審議された。

四国大会時のアピール用タイトル、キャッチフレーズの募集を地区連から各単組に対して募集案内を出すことに決定された。

### 第三回

宮広美全国大会準備委員会開催  
平成六年四月十三日 10:00

各担当部長、副部長、部員に依る四国大会に参加するに際し、各部会ごと各々調整を図り、視察チェックリストを基に、担当部門、部署を十二分に視察することに決定。

・東北地区連の四国大会参加者の概数把握について

・第三十七回全国大会の概要を印刷した手提袋七〇〇部の製作

・観光パンフレット(宮城・山形・福島及び岩手)を各々七〇〇部を収集

・PR用横断幕の製作、PR用ジャンパーの製作

1、各部会ごとの任務分担及び準備事項の再確認について

2、各部会部員の選定について

3、四国大会参加の再確認と視察項目の担当分担について

4、全国大会受入れ準備のタイムスケジュール表作成について

### 第四回

宮広美全国大会準備委員会開催  
平成六年六月十一日 14:30

1、四国大会視察参加しての各部会ごとの報告

・登録部会 ・懇親部会 ・観光部会 ・ゴルフ部会 ・式典部会、以上各部会ごとに、チェックリスト等により見聞した事項を発表させた上で、良いものは取り入れ、悪いものは教訓事項・反省材料として計画に反映させていくことで、立派な東北大会が出来る様心掛けて準備をして

いく事に決定。

2、今後の準備予定について

3、夏期研修会に於いては四国大会視察報告に基づいて東北大会に生かす細部調整全体会議を開催することに決定。

4、その他(視察記録スライド写真の映写・説明)

### 第五回

宮広美全国大会準備委員会開催  
平成六年七月二日 10:30

1、第三十七回日広連全国大会受入れ準備の思想統一について

2、夏期研修会運営についての最終打ち合わせについて

(1) 第三十六回日広連全国大会視察報告(各部会の視察報告)

・総務部会としては、

徳島理事長の率先垂範の行動に感動したこと、東北大会のPRをサヨナラパーティーの会場でも実施させて頂いたことなど視察所感を発表。

・登録部会としては、

石崎副部長から、大会会場への誘導、会場装飾、バス中の添乗員のバトンタッチ等の不備指摘、今後の教訓事項にしたい旨報告がなされた。

・式典部会としては、

式典のタイムスケジュール、特に表彰式に流れのスムーズな運営に感心し、当部会として松島大観荘の改装が終わり次第、会場を下見の上、計画をしたい。

・懇親部会としては、

コンパニオンの手配に配慮が必要と思われる。懇親会場が狭い為、一部のお客様と地元組合員が会場に入りきれず、次の間に隔離されて居た状況等注意したい。又、アトラクションは躍動感にあふれていて良かった。マグロ解体は割に目立たなかった。装飾については、ホテル側の制約があったのか一考を要する。音響設備

今年度の屋外広告の日キャンペーン標語

『いいサインきつといい街いい出会い』

塗料・塗装関連資材・機材  
看板・プラスチック資材・機材の総合商社

## 株式会社 光彩塗料商会

代表取締役社長 今野 紳  
専務取締役 二階堂 宏 信

本社 〒983 仙台市宮城野区東仙台四丁目3番43号  
TEL (022)293-3151(代) FAX (022)293-3154  
多賀城営業所 〒985 多賀城市中央三丁目7番5号  
TEL (022)364-2921(代) FAX (022)364-2046  
福島原町店 〒975 福島県原町市朱来字出口63番の3  
TEL (0244)22-2836(代) FAX (0244)22-2875

板ガラス・アルミサッシ・プラスチック・各種卸・施工



株式会社 センソー

本社：〒983 仙台市宮城野区扇町5丁目3番38号  
(化成部品) TEL 022-232-2255 FAX 022-284-8202

山形支店：〒990 山形市元木2丁目13番24号  
TEL 0236-22-0201 FAX 0236-22-0204

は良かった。早いうちに大観荘の下見を実施し舞台を確認した上で計画を立てたい。

・ゴルフ部会としては  
早坂ゴルフ部会長から、ゴルフ大会前日の宿泊手配、ゴルフ場への送迎、アトラクションコースの標示、成績発表の要領、賞品はJTBのチケット等不満足な点が指摘され、全体として半分がっかりした。来年はこれを教訓にして計画をしたい。

・観光部会長からは、観光コース下見の為、七月九日(十日)にかけて、須賀大会会長、狩野委員長、佐藤副委員長、計四名で山形コース視察下見の要望がなされ、高木副委員長から予算の関係上、下見は何度も出来ない、山形、福島とよく調整の上実施して欲しい旨意見が出された。次いでJTBの安倍課長から両者の都合を決めた上で車の手配をするとの発言がなされた。

(2) 全国大会参加協力の呼びかけについて

地区連携関紙「東北」を活用しての呼びかけ又はスポンサーを募って号外を出すほか、文書をもって地元組合員に呼びかける等、有効な手段を講じる必要があるとの発言がなされた。又、東北六県だけでも予備登録をとってみてはどうか、各県理事長にお願いでみる。

・佐藤副委員長からは、七月二十六日大観荘グランドオープン後、宮広美賛助会にも呼びかけを検討してみたい等、名案が続々と出され前哨戦に向けての火蓋が切られた。

宮広美夏期研修会

「第二十七回日広連全国大会 受入準備全体会議」

開催報告

1、日時 平成六年七月二日(土) 14:00~17:00

2、場所 宮城県青年会館 3F大会議室

3、参加者 戸田相談役以下五十四名

4、次第

- (1) 狩野理事長挨拶
- (2) 須賀会長挨拶
- (3) 四国大会視察報告 各部会長
- (4) スライド写真映写説明 佐藤専務理事
- (5) ビデオ映写説明 佐藤専務理事
- (6) 鈴木前理事長の助言拝聴
- (7) 戸田相談役の所感拝聴
- (8) 第三十七回日広連全国大会受入れ準備について、他

以下要点を記す。

◎四国大会視察報告(第五回宮広美全国大会準備委員会開催報告の視察報告と重複するので省略する)

- ・総会部会
- ・徳島観光コースについての所感発表がなされた。
- ・登録部会
- ・石崎副部会長がスライドを映写、佐藤副委員長が一コマ一コマ説明し、理解をして頂いた。
- ・式典部会
- ・浅部部会長から四国大会の所見を述べた後、大観荘の間取りを視した上で式典会場の内部配列を考えた。レイアウトが一番の課題となるとの発表がなされた。
- ・懇親部会
- ・榎窪部会長から会場のシステムが異なる為、大観荘を下見してからでないと判断し難い。アトラクションで良いものがあつたら紹介して欲しい。部員になったら協力して欲しい。等の要望がなされた。
- ・ゴルフ部会

早坂部会長から四国大会での模様が報告され、不手際が沢山みられたが、これを来年の教訓事項としてこれからの準備に反映していきたい。なお、ゴルフ部会として七月十二日宮広美ゴルフ同好会が主催となり、定例会を兼ねた下見ゴルフ大会をニューワールドゴルフクラブで実施する予定であることを発表された。

又、これには東北各県単組にも呼びかけた上で、多数の方々が参加されることを期待して居るとのことであった。

◎スライド写真映写(登録部会の視察報告で実施済みなので省略)

◎ビデオ映写

戸田副部会長が映写し、佐藤副委員長より詳細に説明があり、映写終了後佐藤副委員長から四国大会視察の全般にわたる所感の総括が発表され、次いで、次の様な教訓事項をふまえて計画立案をされたという要望がなされた。出迎え時のバス運行についての対応を良くすること。

・出迎え時のバスに添乗者を乗車させること。

・被表彰者で代表者以外への賞状、記念品引き渡しコーナーの設置と表示が必要。

・来賓控室の接遇に万全を期すること。

・休憩場所の案内表示の設置。

・昼食場所の案内表示の設置。

受入れ開催の模様を詳細にわたって紹介され、三回の大会を通じて大切だと感じたこと、

・組合員全員参加の意識

・観光(エキスカーション)であることを強調された。

観光コースの途中に於けるセレモニーで、青森の雪壁の中からのリングゴリ、秋田銘酒の鏡わり、山形県境でのサクランボ娘からサクランボ手配り等心のこもった歓迎ぶりが、全国からおいでになったお客様に感動を与えた等の話をされた後、特に経費の面にふれ、過去三回においては一度も赤字を出していないことを誇り思っている、

今年も赤字は絶対に出さないように、綿密な計画の立案、周到な準備、詳細にわたる経費の見積もり、運用に意を用い、職位機能組織図に従って、統制のとれた準備活動を実施して欲しい旨の助言を拝聴した。

◎戸田相談役の所感拝聴

来年東北地区連がホスト役を受けての全国大会開催に際し、昨年来年度にわたり準備会がもたれている事を承っています。今年度の四国大会に地区連、特に宮城県より多数の皆様が参加され、微に入り細に巨り視察し、しかもスライド・ビデオ等を活用して勉強されていることに関して本心に感心致しました。

数度に及ぶ全国大会を経験された須賀会長のもと、すばらしい実行力のある狩野理事長のリードにより着々と準備態勢を整えて居られることは大変嬉しく思います。

全国大会は、日広連の最大のイベント行事であり、式典運営は事務局の責任のもと、地区連の協力により万全が期せられるものであります。暇だれをして、費用を負担しての協力ですが、十年に一度の行事ですので、折角おいで下さる全国の同業各位の一人でも多くの方々に喜んで頂くよう真心をもってお迎えすることが大切だと思います。

「云うは易く行い難し」決して背伸びせず、予算をきちんと組んだ上で実行し、赤字は絶対に出さないことが肝要です。

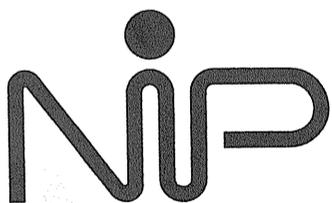
— 皆様のニーズとサービスを求めて —

看板資材総合商社

株式会社 弘栄産商

代表取締役 武田 龍生

〒983 仙台市宮城野区東仙台 5-38-16  
TEL 022-295-2255 FAX 022-295-2257



NiP corporation

株式会社 ニップコーポレーション

仙台事業部

- 本社 〒171 東京都豊島区南池袋2-29-13 TEL(03)5952-5501(代表) FAX(03)5952-1051
- 仙台事業部 〒984 仙台市若林区大和町3-4-20 TEL(022)232-7411(代表) FAX(022)238-0271
- 東京事業部 〒171 東京都豊島区雑司が谷3-13-5 TEL(03)3987-3361(代表) FAX(03)3987-4734
- 名古屋事業部 〒454 名古屋市中川区池田町21-19 TEL(052)362-2211(代表) FAX(052)362-9554
- 大阪事業部 〒550 大阪市西区南堀江4-14-1 TEL(06)541-4351(代表) FAX(06)541-4350
- 広島事業部 〒730 広島市中区光南3-9-28 TEL(082)244-5751(代表) FAX(082)244-5770
- 福岡事業部 〒815 福岡市南区大橋2-23-35 TEL(092)521-1521(代表) FAX(092)522-0591

それがためには、日広連事務局とよく調整し、式典の運営指導を受けること。歓迎の形を考へること。特に大会に参加出来ない各地区の従業員や、家族も含めての歓迎は、心のこもった歓迎ともなるので、パスの通過時刻なども調べて教えてやることも大切だと思われれる。

大会の準備において経験を積まれた鈴木前理事長の御指導をお受けするよう。地区連各単組の理事長と事前の連絡相談を密にして、協力して頂くこと。等、細かい御指導を拜聴することが出来た。

◎庄子副委員長から、第三十七回日広連全国大会受入れ準備について、本日十時三十分から、第五回宮広美全国大会準備委員会を開催したことについて報告があり、今後更に各県理事長との連絡を密にして準備を進行していきたいとの意向を発表、機関紙東北の号外発行及び宮広美賛助会への協力呼びかけをも実施したい旨検討中であることを示唆した。

・天童・山形両市で安心して飲食出来る店の案内マップを作る必要がある。この報告がなされ、全般としては山広美が積極的に協力して頂けるので、特に問題はないものと思ふとの所見を述べられた。狩野委員長からは、懸案事項等は山広美とよく調整し不手際のないよう準備を進めて欲しいとの要望がなされた。

第七回

宮広美全国大会準備委員会開催  
平成六年九月十四日 10:00

場所 ホテル松島大観荘  
参加者 狩野委員長以下、副委員長、委員長補佐、各部長、副部長、総勢十二名

オブザーバーとして、須賀大会会長、JTB安倍課長、TCS阿部ディレクター、大観荘伊藤課長  
会議内容としては、大観荘下見の手順説明の後、狩野委員長から、大観荘の下見について、これを承諾して下さった当ホテルの御好意に対する謝辞と、しっかりと下見をしてアイデアを見出して欲しい旨の要望と、組織図に基づいた報告・相談をするよう注意統制がなされた。次いで大観荘の伊藤課長に対して、当館の概要説明を求められ、伊藤課長からパンフレットによる説明がなされた。

・コンベンションホール、大宴会場の広さ、収容人員等についての説明要求。  
・千代の間で大会を開催した後、宴会は可能か?  
・朝食はバイキングか?  
等の質問があったが、先ず現状を視察することとし、館内の下見を開始した。

◎大観荘の下見結果に基づく各部署ごとの所見開陳(以下省略)  
最後に須賀大会会長より助成金(補助)の申請について  
狩野理事長、庄子副理事長を伴って県都市計画課に助成金の申請に行くよう準備中であり、当組合顧問にも同行をお願いしてあり、仙台市にもアプローチする積もりであるとの事であった。

・大観荘の下見方法  
その他(観光部会)

平成六年東北地区連合同会議に於ける全国大会関連事項

日時 平成六年十月十四日(金) 13:30

場所 山形市パレス平安  
出席者 (地区連) 須賀会長、高木会計理事(青森) 千葉理事、鈴木委員長、松尾専務理事、太田事務局長

(岩手) 高橋理事、小笠原委員長、土村専務理事  
(宮城) 狩野理事長、大友委員長、佐藤専務理事、市川事務局長

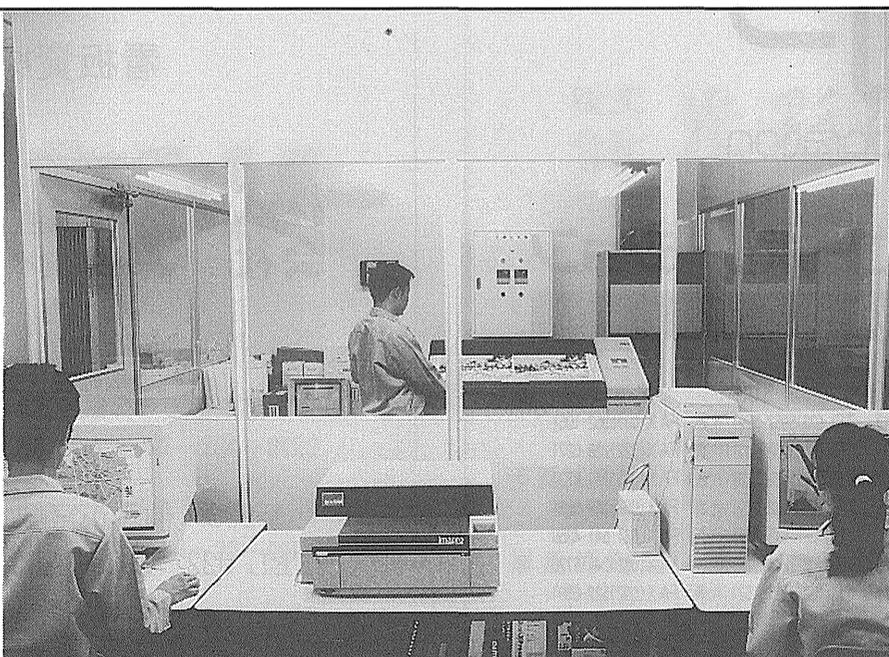
(秋田) 石黒理事長、石塚委員長、齊藤専務理事兼事務局局長  
(山形) 田中理事長、武田委員長、佐藤専務理事、木村事務局長

(福島) 遠藤理事長、長谷川委員長、黒沢理事、佐藤事務局長

◎第三十七回全国大会受入れ準備について  
議長、上記議案を上げし、宮広美佐藤専務理事に発表を求めたところ、大会開催の専務として「受け入れ準備状況・準備委員会開催状況」の資料による概要説明があり、次いで

・観光コースについては、山形コースを七月九日〜十日、福島コースを九月二十日〜二十一日に、山広美、福広美の協力を得て下見を実施した旨の紹介がなされ、山形コースは山広美の佐藤専務理事が、福島コースは黒沢理事が各々懸案事項も含め詳細に報告がなされた。  
・ゴルフコースについては、七月二十一日宮広美ゴルフ同好会と有志による下見会が実施されており、青広美千葉理事長から「ニューワールドはホテルがコースの近くで立地条件も良く、特に問題となることは今のところありません。宿泊の方も委員会において今後つめる予定です。」との発表がなされた。  
又、宮広美佐藤専務理事からは、

つぎに来るのは、Innovation working for you 何だろう?



新メディア誕生  
スコッチプリント  
9512

美しさ、耐候性  
コストパフォーマンス達成

住友スリーエム株式会社特約加工販売店  
株式会社丸和商会  
TEL 0286-56-3611 FAX 56-6781

本社 宇都宮 支店 仙台  
事業所 岡本  
営業所 青森・秋田・盛岡・山形・郡山  
高崎・水戸・東京・沖縄

営業案内

- (フィルム部門)  
スコッチカル、マスターカット、ダイノック  
スコッチライト、テントマーキング、デザインシート
- (コンピュータ機器部門)  
スコッチマスターベガ、ベガウインドーズ  
ベガエッジ、スコッチプリント
- (製作部門)  
スコッチプリントイメージグラフィックス  
パナグラフィックスサイン  
スクリーン印刷
- (施工部門)  
スコッチカル、ダイノック、パナグラフィックス  
スコッチテント、貼り施工

「宮広美ゴルフ担当委員から、ゴルフ場は貸し切りであるため、最低でも八十名は何とかして集めたいので、各単組においても積極的に参加を呼びかけて欲しい。」との要望があった旨の紹介がなされた。

・記念品の決定について  
各単組から記念品はいつまでも思い出に残る様な郷土色豊かな民芸品が良いのではないかと意見が出され、同伴夫人と宮城県の方々には福島県会津地方の民芸品を贈ることに決定した。

・担当分担について(差し出し人員の依頼)  
宮広美佐藤専務理事より、「まだ未確定で概算であるが、執行部(案)として宮城七十名、福島四十名、山形四十名、青森十五名、秋田十五名、岩手十五名、計一九五名をスタッフ要員として差し出し協力して頂きたいと思っております。正式に決定した時点で文書をもって依頼致します。」との発表がなされた。

続いて高木会計理事から、資料「全国大会関係収支一覧表」に基づき収支について詳細に報告があり、今後の予算見積もりについてはJTBと共に良心的な妥当性を追求し、例年の予算に近づけて運用するよう努力したいとの発表がなされた。

議長、これ等を一括し、議場に諮ったところ了承可決承認された。

**第八回**

宮広美全国大会準備委員会開催  
平成六年十一月十一日 13:00  
県青年会館

**◎会議内容**

- ・全国大会の日広連補助金予算(案)の報告があった後、準備委員会の件にふれた
- ・実施計画を今年中に決定して、日広連紙でPRすること等、他
- 1、役職分担、所掌業務再確認
- 2、東北地区連合同会議決定事項の報告
- 3、各部会予算(案)の検討

4、各部会役員構成の検討  
5、その他

**第三十七回全国大会準備委員長 会議の開催についての報告**

- 1、日時 平成七年三月十一日(土) 11:23
- 2、場所 ホテル山形イン「葵進丸」
- 3、出席者 須賀地区連会長、東北六県理事長、以下総勢十一名

**◎内容は省略**

**第三十七回全国大会執行部 打ち合わせ会議の開催報告**

- 1、日時 平成七年四月二十二日 (土) 10:00
- 2、場所 県青年会館
- 3、出席者 須賀会長、狩野理事長、庄子参与、高木副理事長、佐藤専務理事、大内会計理事、市川事務局長

**4、会議の内容**

市川事務局長より、大会開催まで残すところ五十日となり、四月二十七日の事前調整会議(五月十日各県理事長の大会会場下見及び報告会に備えての会議)に先立ち、執行部として各部会長・JTB・大観荘に対し明確な方針、指示事項、指導要領を指示するための打ち合わせを実施する必要から、本会議を開催する旨の主旨説明があり、次の資料が各人に配布された。

- (1) 第三十七回全国大会参加者申し込み状況表(日広連のまとめ)
- (2) 執行部打ち合わせ資料
- (3) 補助金等交付申請書(県・市)
- (4) 宮広美支部別参加申し込み状況表
- (5) 大観荘の見積書
- (6) 六月一日～六月三十日 仙台空港発着時刻表
- (7) 大会準備チェックリスト表
- (8) 利府高校吹奏楽部の派遣要請書
- (9) 県・市後援名義の使用許可申請書

続いて決定された事項としては、六月七日エキスカッションに参加しない方々の見送りについて、大観荘のバスを利用、松島海岸駅まで見送る。

- (1) ユニホームの発注、発送の件
- (2) 利府高校吹奏楽部の派遣及びリハーサルの日時について
- (3) リハーサルは六月六日13:00とし、日広連と調整する。
- (4) 懇親会会場について
- ・千代の間に決定、テーブル方式で実施する。
- ・テーブルのレイアウトは再度検討、千代の間500。
- ・ホスト南三県は接待役に徹することを基本方針とし、別の会場(藤の間を予定)で実施する。
- (5) 六月五日の前泊について
- ・日広連、袋詰め作業員、執行部の要員を指名、手配する。
- (6) 編成表に各単組参加者の氏名を挿入すること
- (7) 振袖嬢の依頼について(二名)
- (8) 歓迎バスの運行について
- (9) 婦人の集いについて 以下略

- (1) 滝の湯ホテルの収容能力
- (2) 仙台駅東口～大観荘までの往復運賃と片道運賃の差異。
- (4) 大観荘のワンルーム確保の件。 以下略
- 6、その他 以下略

**全国大会準備調整会議開催報告**

- 1、日時 平成七年四月二十七日 (木) 13:00
- 2、場所 県青年会館
- 3、出席者 須賀大会会長 以下十五名
- 4、会議の内容  
会議の内容は前記の四月二十二日の要項についての調整審議 以下略

**日広連第三十七回全国大会会場視察及び準備状況報告会の開催**

- 1、日時 平成七年五月十日(水) 13:00
- 2、場所 ホテル松島大観荘
- 3、出席者 須賀大会会長、千葉委員長、高橋委員長、狩野委員長、石黒委員長、田中委員長、長谷川委員長、庄子副委員長、高木副委員長、佐藤副委員長、大内総務部会長、伊藤登録部会長、浅部式典部会長、杼窪懇親部会長、泉観光部会長、戸田観光副部会長、早坂ゴルフ部会長、郡山ゴルフ副部会長、市川委員長補佐、JTB安倍課長、TCS阿部ディレクター、大観荘伊藤課長

- 4、内容
- (1) 大会会場の下見
- (2) 各部会長の準備状況報告確認
- (3) 大観荘との調整事項の確認
- (4) 大会当日の懇親会献立確認
- (5) 宿泊部屋の確認
- 5、報告
- (1) 四月二十二日執行部打ち合わせ会議で決定した事項
- (2) 四月二十七日全国大会準備調整会議で審議した事項 以下 省略

**全国大会準備統一 打ち合わせ会の開催**

- 1、日時 平成七年五月二十七日 (土) 13:00
- 2、場所 県青年会館
- 3、出席者 須賀大会会長 以下五十七名
- 4、次第
- (1) 須賀大会会長挨拶
- (2) 高木副委員長挨拶
- (3) 市川委員長補佐から現況報告
- (4) 各部会長から報告並びに説明
- (5) 各部会毎打ち合わせ会

平成七年六月六日 定刻13:00 景勝の地 松島ホテル  
大観荘に於いて、全国から六六〇余名が参加のもと第三十七回日広連全国大会の幕がはら開かれた。想えば二年間の長い準備期間のもと多岐にわたる諸問題を東北地区連会長以下、会員の一致団結と誠心誠意を尽くした結果として大変意義深いことであったと感じて居る。試行錯誤の中で万全を期した準備も当日の本番で予期せぬ事態等があり、同志には大変な御苦労をおかけしたことを改めて痛感し、心より感謝と労いを申し上げる次第である。



**東北地区連 事務局長のご紹介!!**

事務局長を拝命して早丸三年を経過いたしました。

この間、須賀会長をはじめ佐藤専務理事、高木会計理事の暖かい御指導と各単組の事務局長の御支援に支えられ、何とか業務を滞滞なく遂行いたしております。心から厚く御礼申し上げます。

今後も微力ながら東北地区連の発展に寄与するよう一生懸命頑張る積りで居りますので本年も旧年に倍する御指導御支援を賜りますようお願い申し上げます。



市川 洋一 氏

**看板資材卸販売**  
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

**東北藤光株式会社**

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46  
TEL (022) 254-0611  
FAX (022) 254-0608

### 東北のつわものたち①



福島 野地 良二さん

笑いと言えば東の浅草、西の大坂、そりゃあ芸人さん達が何十年もの鍛えた話芸やら、面白おかしく技を披露し笑いを提供する。

それは見事なものである。がしかしである。芸人すべてが素晴らしい芸の持主ばかりとは言えず聞くに、見るに、耐えられない芸人さん、そりゃあ満天の星の数程いるものだ。

こうしてみると、プロの道が、いかに厳しく高いものがわかって言うものだ。そんな一握りの世界に仲間入りしても遜色のない芸達者が、我が福広美に存在する。

その名は、福島県郡山市の住人、有限会社アーム工芸代表取締役社長 野地良二さん、その人である。彼は特技の似顔絵描きが講じて『アッチ・コッチ』の宴会場から、婚礼の席、傍ま祝賀会式典の席と会場、催し物等幅広くお声がかかり引きも切らずの引っぱり風である。



唯いに載く上りは数千円とか? 彼の素顔はと言いますと、我が福広美の理事を数年重ね(進行係)務め、全国グランプリ大会に出場し、一九九五年度開催に於いては、堂々の第二位を『サリ』と獲得し今年度は一位かな? だって! また、我が福広美の開催するパネル展には毎年欠かさず上位入賞を果たし、いつも東北地区連に顔を出し入賞をさらう。商(あきない)は、人一倍熱心で人あたりも良く福広美繁盛店No.1である。

頼もしい彼であって、今後福広美を背負って(重い)行く事になる第一級の人物である。【おしまい】

福広美情報文化委員長 黒澤 功

### 東北のつわものたち②



青森 石沢 曉夫さん

県都・青森市と、桜咲く城下町で名高い弘前市のほぼ中間地点に「浪岡」と言う町がある。この浪岡町は、青森県の特産物であるりんごの主産地であるが、また「オシン横綱」と呼ばれた元横綱「隆の里」の生まれ故郷でもある。

この浪岡町に、最近国道七号線バイパスが開通され、そのバイパス沿いに株式会社エーアイサインの社屋がある。従業員十名、石沢社長は昭和三十六年生まれと言うから、まだ三十代の若社長である。

現在地に営業の拠点を持ったのが平成五年とまだ日は浅いが、サイン歴は修業時代を含めて十五・六年のキャリアを持つている。

その間たゆまざる技能向上に努め、一級技能士はもとよりのこと、サイン界では非常に倍率の高いサインクリエイターの資格を、平成四年に取得し、現在同協会の理事を務めている。

ついでながら、同社長の経歴を若干付記すると、青森県屋外広告美術業協同組合に加入したのが昭和六十三年で、

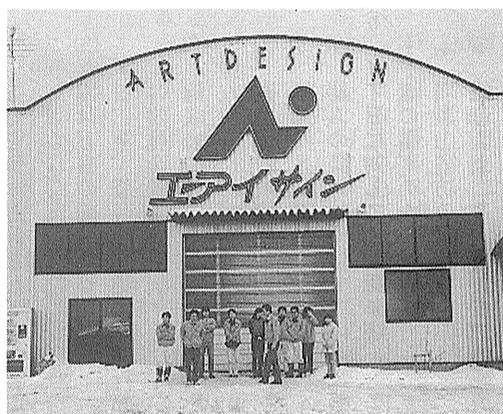
まだ十年足らずの歳月であるが、同組合の監査役を経て平成七年から理事に就任している。

また、若者の代表格として同組合青年部長を務め、各種委員会のなかにあっては技能開発委員会副委員長を歴任し、平成四年全国技能グランプリ三位入賞、平成七年には日広連が公募した「屋外広告の日」のポスターに応募し、見事全国第一席を獲得するなど、将来の技能開発委員長候補として有望されている。

家族は四人、美人な奥さんはよく社長を補佐し、四歳と三歳になるかわい

い男のお子さんのめんどうを見ながら、会計・経理はもとよりのこと、従業員との和を図りながら毎日勤務している。

社長の晩酌はビールとカクテル、少々少々と言いつつも、さぞや美人の



興味は絵画。看板屋(失礼)さんに絵を画く人が多いと聞くが、同社長の絵画はまた絶品、青森県展奨励賞を三回受賞し、現在県展審査員。それにあき足らず、平成七年から「国画会」に所属し、初出品初入選ととどまるところを知らない。

ちなみに同社長の絵は、具象から抽象に移りつつある。

また、仕事の話に戻るが同社長は優秀な腕をもちながら、カットティングマシンやプレゼンテーション・ソフト等の機械をふんだんに駆使し、作業効率をあげている。

これは社長自身若い頃経験していることで手切り作業の苦労だけは今の従業員にはやらせたくないと言う。若さの象徴とも言うべき合理性のなせる技か。

そう言えば社長の名刺には、サインクリエイターの肩書きが入っている。「サイン屋はデザイン料をきちんと貰うべきだ」と主張する。

最後に同社長から将来に向けての展望をお聞かせ願った。

まず、スタッフの幸せを考えています。

そのためには仕事をしていることの喜び、また作ることに楽しみもあるけれど、なんと言っても待遇面でもっと給料を上げてやりたいと思っているんです。そうすることによって我が社はもちろんのこと、業界全般が社会的に認められることとなり、そうなると思

然に良いスタッフも確保できると思っています。

我が社なりの付加価値をつけた良い製品を作つてやり、お客様が喜んでお金を払ってくれるような仕事をし、その充実感をスタッフとともに分かち合える会社になりたいと思っています。

青広美情報文化委員長 国分 薫

### 「みやび広和会」紹介



会長 立林 文夫 (北日本美術裝飾)

宮広美の青年部として、会員の親睦を図る・講習会等によって研鑽を図ることを目的に、昭和四十九年に設立され、平成七年までに三十八名の先輩が卒業している。

〔入会資格〕(年齢制限四十五歳以下) 宮広美の組合員、組合員の後継者、事業主が推薦する従業員、非組合員でも会員の推薦があれば入会可。

〔会費〕(平成八年度) 二十五名(宮広美組合員)一四、後継者・九、非組合員二二

〔会費〕 費 一五、〇〇〇円/年 賛助会員 一八、〇〇〇円/年

### 屋外装飾用シートのカラーシステム

# NOCS 2500

〈ノックス・ニー・コー・マル・マル〉

## 制作・指定・施工まで トータルにサポート

- 充実のシステム
- 便利なツール
- 情報のご提供

オリジナルCD-ROM「NOCS世界の色情報「The Color」'95注目の店舗編」プレゼント

NOCS 2500の可能性を広げる、オリジナルCD-ROM (Mac版) を用意しました。クリエイティブ活動にぜひお役立てください。ご希望の方は、住所、氏名、年齢、ご職業、電話番号、CD-ROM希望と明記の上、官製ハガキにて下記までお申し込みください。

〈NOCS 2500〉に関するお問合せ、資料のご請求は 〒103 東京都中央区東日本橋3-7-13相良ビル 株式会社中川ケミカル (ノックス インフォメーション) 係 Tel. 03-3668-1591 Fax. 03-3669-5694



### 〔役員〕

一〇名(任期二年) 会長は宮広美理事として登用される。

〔主な事業〕(平成八年度) 一月二十七日 総会・新年会

一月二十八日 スキー大会(宮広美スキー同好会と合同)

二月十八日 宮広美総会

四月 定例会(お花見、仙台南支部と合同)

五月 ゴルフ大会

六月 日広連全国大会参加

七月 研修会

九月 ボウリング大会

十月 つり大会

十二月 忘年会

以上の他に、政府広報板のポスター

貼替、維持管理を行い、親組合から年

二十四万円の管理費と、別枠で会への

助成金として年十二万円を計上しても

らい、会費収入と合わせて活動資金と

している。

また広和会は、宮城県中小企業団体

青年部連絡協議会(八六団体、会員数

二、四〇〇名)に加入し、異業種との

交流にも努め、各種青連協の行事にも参加している。

昨年の日広連全国大会では、会員の多くがスタッフとして参加、また東北公共パネル展でも設営や撤去の手伝いに、親組合事業への積極的な協力等、裏方として多に貢献している。

また、阪神大震災の被災者の方へ、会員有志が義援金を集め赤十字へ独自の募金活動も行った。

現在、会員数は四十五歳の定年制によって、減少を続けており二十五名であるが、今後新会員、後継者の加入推進が会の大きな課題である。

### 屋外広告業連合会

情報文化委員会・機関紙「東北」編集委員会

- 委員長 鎌田 昌孝(岩手広美)
- 委員 国分 薫(青森広美)
- 委員 根田聖三郎(秋田広美)
- 委員 古川 朝世(山形広美)
- 委員 泉 悦夫(宮城広美)
- 委員 黒沢 功(福島広美)